

資料1 港区における犬の頭数およびドッグランの有無

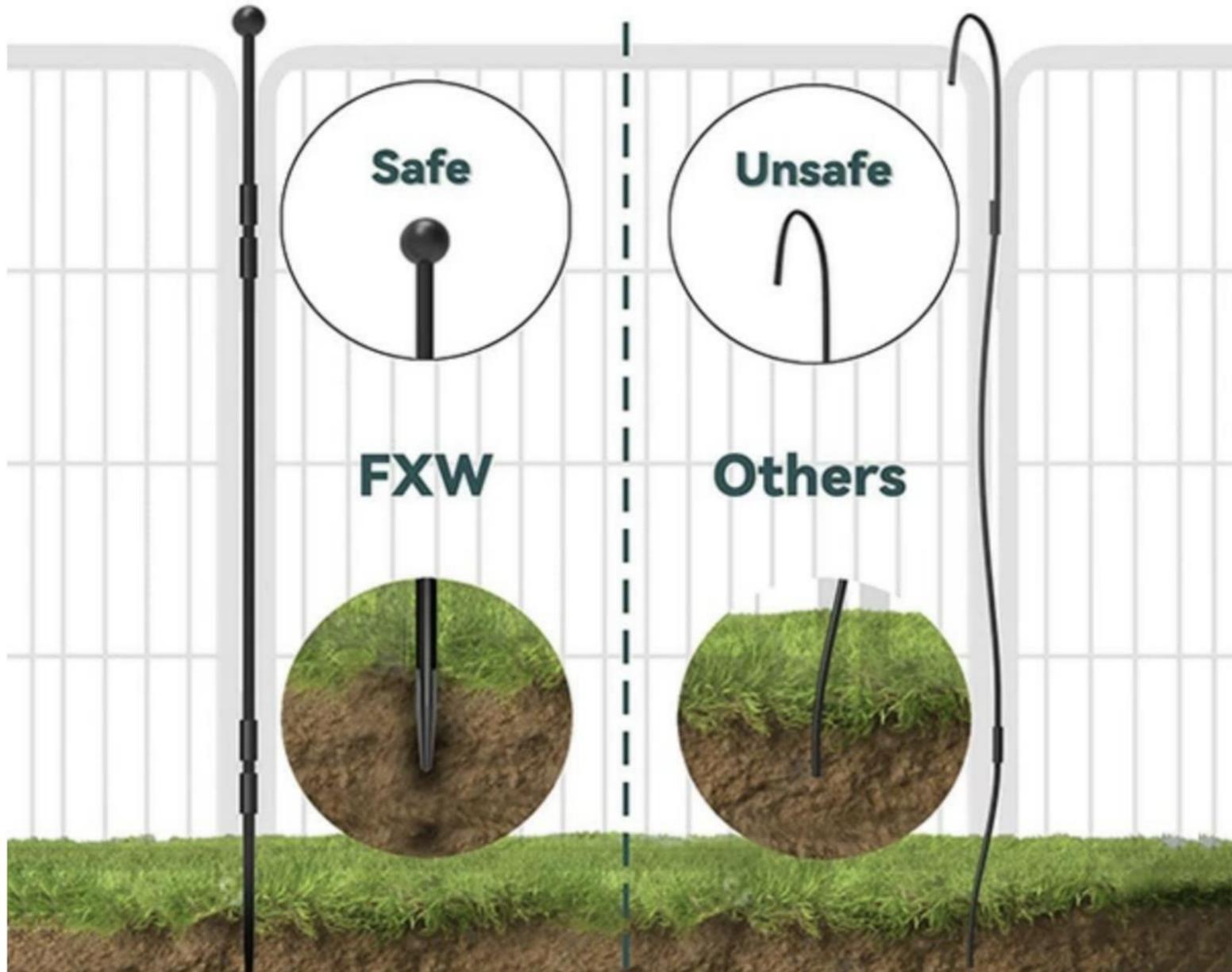
	頭数	ペットショップにいる頭数	差分	ドッグランの有無
芝	1774	0	1774	無
麻布	6226	2388	3838	無
赤坂	2092	89	2003	無
高輪	2809	0	2809	無
芝浦港南	2943	194	2749	有
合計	15844	2671	13173	

資料2 屋内型ドッグラン 一例



Safe & Sturdy Stakes Design

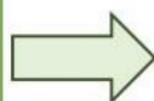
ペグで地面に固定するから倒れず安定性抜群！



2. 現況課題をふまえたまちづくりの意義

課題1

誰もが利用でき
憩いの場となる
広場空間の不足

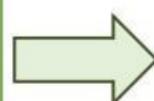


4列のいちょう並木など
歴史ある景観を残しながら、
**みどりやオープンスペースを
増大させること**



課題2

大規模スポーツ施設の
老朽化



老朽化したスポーツ施設を
競技開催の継続性に配慮しながら
連鎖的に更新し、
**世界に誇れるスポーツ
クラスターを形成すること**

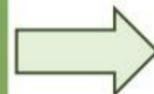


※この図はイメージであり、実際と異なる場合がございます。

2. 現況課題をふまえたまちづくりの意義

課題
3

地区内の歩行者の
回遊性が乏しい

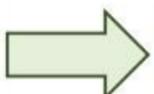


各施設をバリアフリーで接続し、
イベント時にも多様な来街者が
安全に回遊して楽しめる、
東京を代表する新たな複合型の
公園まちづくりを推進すること



課題
4

広域避難場所としての
機能の維持・向上の必要性

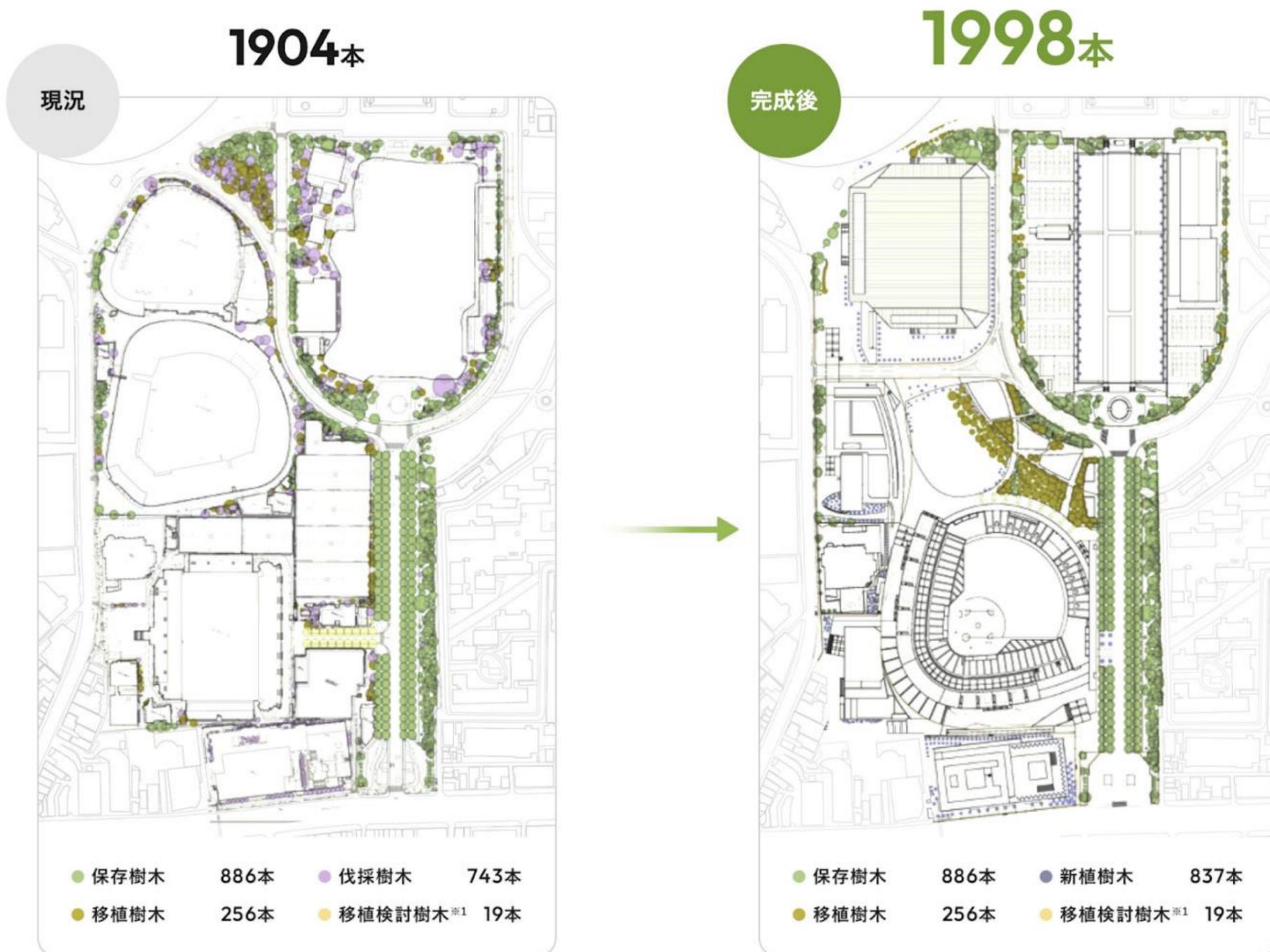


都市機能と広場等のオープンスペース、
大規模スポーツ施設の連携により、
広域避難場所としての防災性を
高めること



資料 4 再開発前後の樹木の変化について

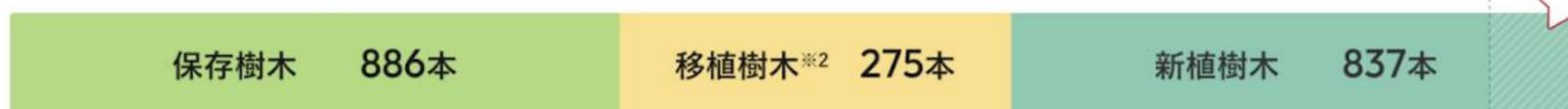
樹木の変化について



開発前 1904本^{*3}



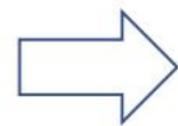
開発後 1998本^{*3}



プラス
94本

本計画の中で、やむを得ず伐採をした樹木は、利活用を積極的に検討致します。

みどりの面積の増加



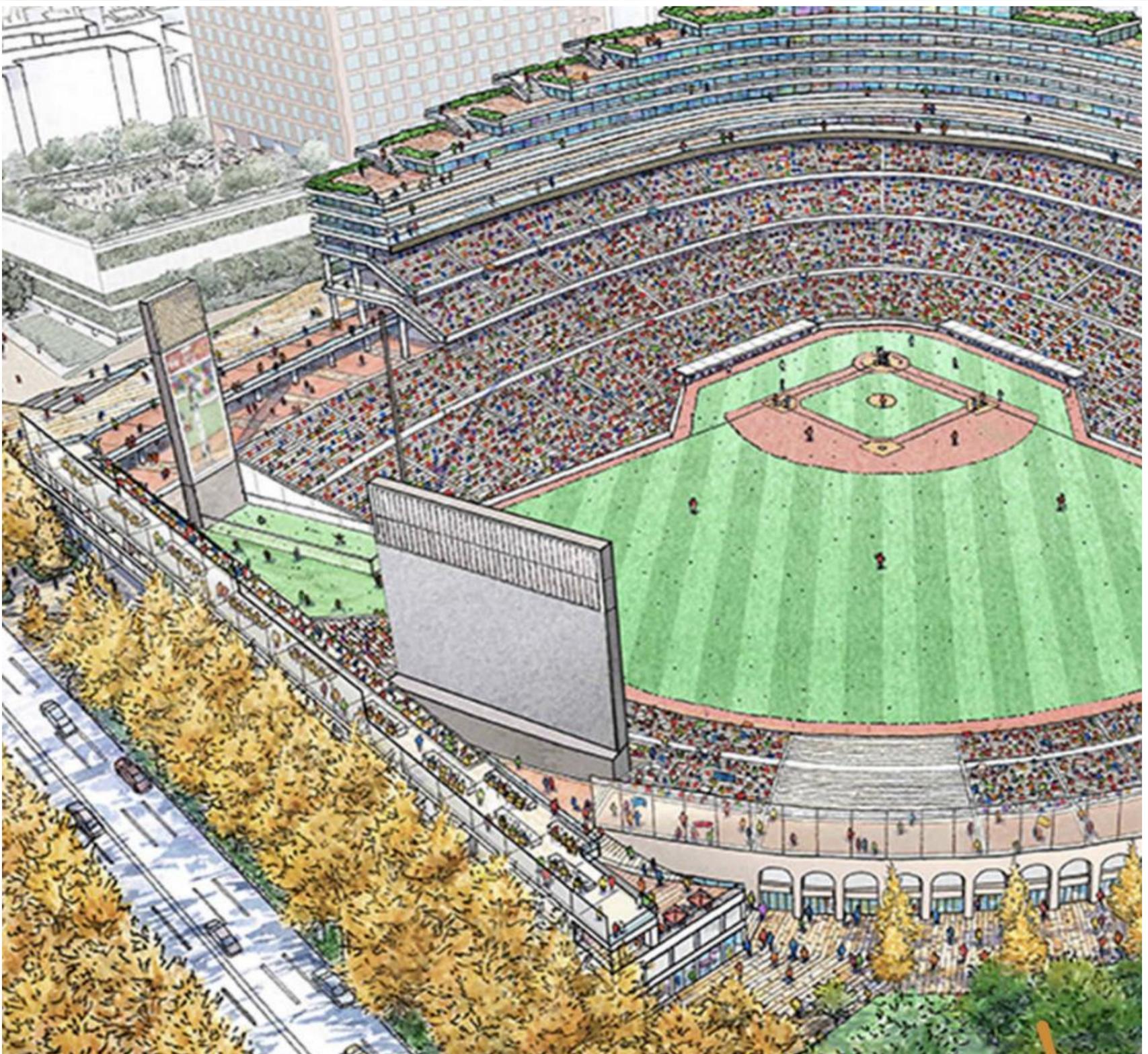
※航空写真をもとに、樹木の投影面積/地区整備区域内の宅地面積の合計によって算出しており、投影面積は宅地内の部分のみ算定に加えております。

出所：神宮外苑地区まちづくり

資料 6 イメージパース



資料 7 イメージパース



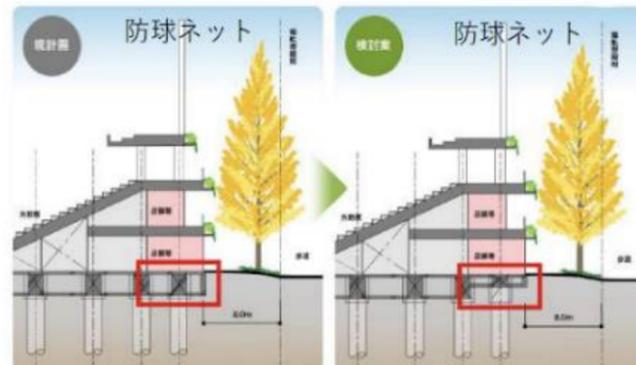
資料 8 4列のいちよう並木を保全するための検討事項

具体的な検討事項の例

■設計上の工夫

- ・扁平基礎やピットの一部縮小などの構造上の対応を検討します。
- ・樹木の周辺の舗装は浮き床方式を採用し、人の往来による根への損傷を軽減することを検討します。
- ・野球場棟のネットフェンスやスコアボード等は、日照や景観をふまえ、構築物の配置や素材・色彩を決定します。

参考) 扁平基礎・ピット縮小検討



■施工上の工夫

- ・工事の施行にあたっていちよう並木を傷つけないように、近くに重機を通さない工事ヤードを設定し、重機作業員に対しては十分な離隔を確保するよう要請します。
- ・仮囲いは置基礎タイプとして打ち込まず、根に配慮します。

■全体に関して

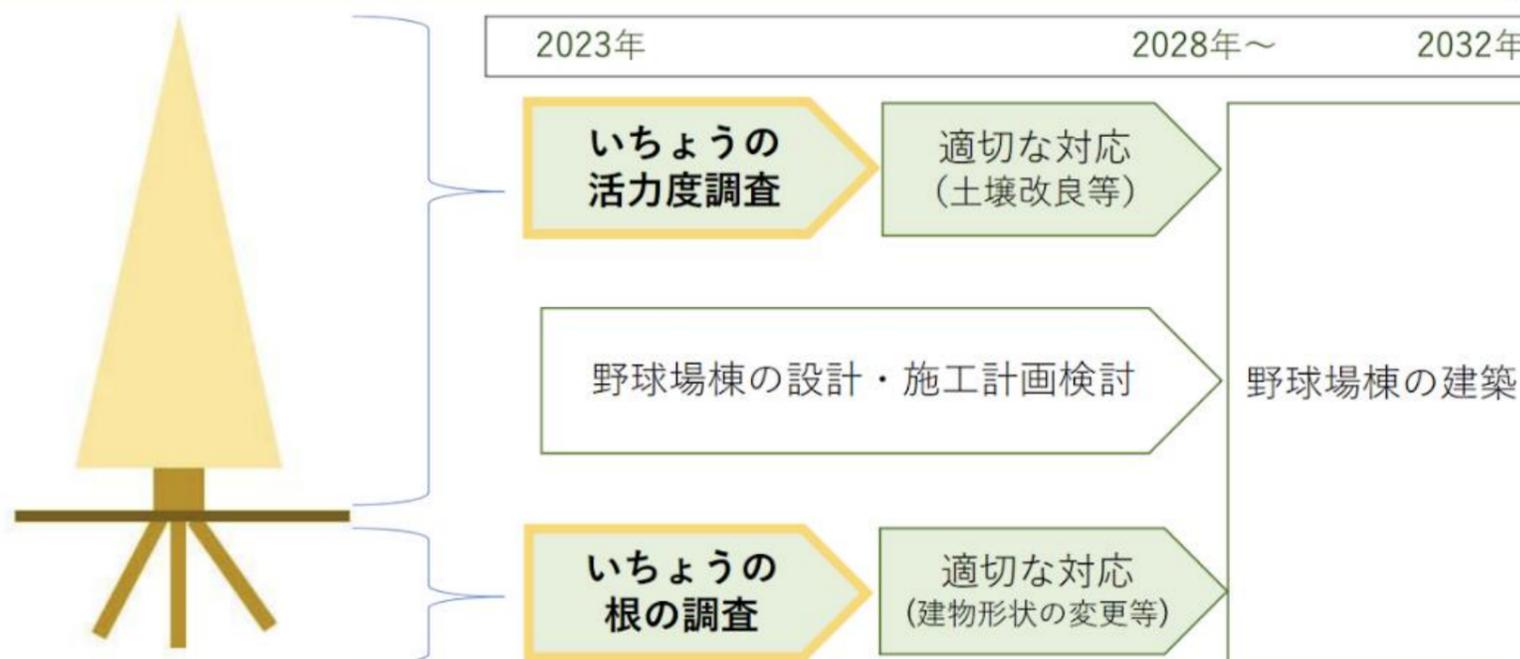
- ・工事の施行中及び完了後の一定期間にわたり、いちよう並木の活力度調査などモニタリングを実施し、状況に応じた環境保全のための措置を継続し、保育管理を実施することで、将来にわたり4列のいちよう並木を保全します。

4列のいちよう並木を保全するための全体方針

事業者の取組

- ・いちようの活力度や根の状況など、樹木医等と相談しながら適切な調査を継続的に実施
- ・調査結果に応じ、樹木医等の専門家と相談を行い、野球場棟の設計・施工計画検討

検討方針



資料 9 いちょうの調査について

いちょうの活力度調査の概要

活力度調査概要

樹木医資格を有する複数の調査員にて、全体の樹形・欠損・葉の形や色など、多角的にいちょうの活力度を調査。



活力度調査の様子



調査結果をふまえ
土壌改良など対策を検討

今後の対応

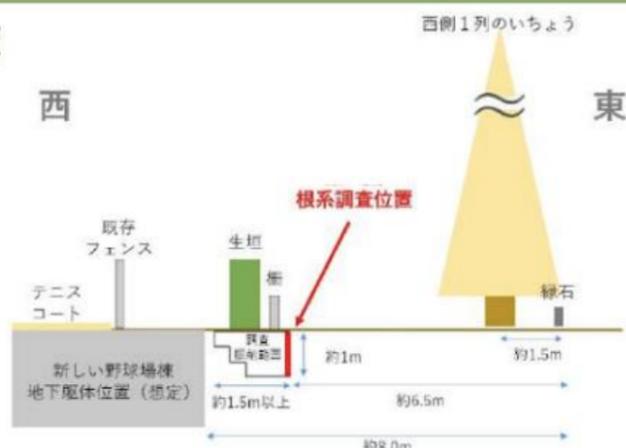
- ・継続的にいちょうの活力度調査を行い、結果に応じた対策処置を検討。
- ・調査結果を環境影響評価手続きに則り、定期的に環境影響評価審議会にて事後調査報告予定。

いちょうの根系調査の概要

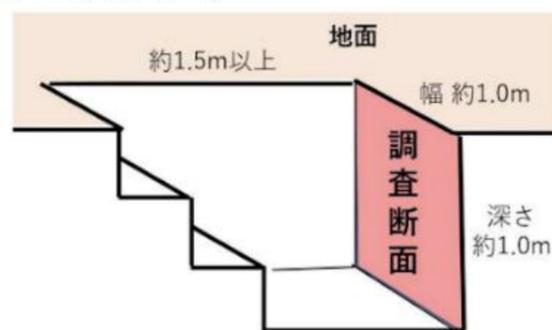
根系調査概要

- ・調査時期：2023年1月実施。
- ・歩道縁石から約6.5m西の位置で、いちょうの根の調査を10地点で実施。
- ・幅・深さ約1.0mの穴を掘り、断面の根の数や分布状況を専門家等により調査。

調査位置（全体図）



調査位置（断面図）



（参考）掘削範囲と調査断面のイメージ

※根系調査の状況については、今後の東京都環境影響評価審議会での説明予定。
説明後、プロジェクトサイト等で公表予定。

※いちょう並木を確実に保全するため、根系調査の結果や樹木医の見解を踏まえ、必要な場合は野球場棟のセットバックなど施設計画の見直しに取り組む。